

ポイントは声かけ 組織を増やし、国労要求実現 第131回拡大地方委員会を開催

毎月勤労統計をめぐる不正問題は事業所調査の不正・偽造にとどまらず安倍内閣のもとで賃金上昇を演出する「アベノミクス偽装」が行われた疑惑に発展。今年度の軍事費は5兆円を大きく超え、5年連続で過去最大。米国から高額な兵器を購入させられ、防衛費予算は膨れあがる一方。これらは歴代政権が「攻撃的兵器を保有することは、許されない」としてきた憲法上の立場を覆し、「専守防衛」を立て前としてきた自衛隊から、「海外で戦争」する軍隊へ変貌させるもの。辺野古新基地建設では土砂投入を強行。玉城知事の工事中止と協議の申し入れを無視する暴挙。辺野古埋め立ての是非を問う沖縄県民投票が実施される。再び民意を示そう。

10月の消費税10%への増税は家計を直撃し、消費不況をもたらし、アベノミクスで広がった貧困と格差がさらに拡大される。安倍政権即刻退場させる為に地方選・参議院選を共闘する仲間と共に奮闘しよう。

組織拡大では「動きを作る」「分会機能の強化」が提起された。ポイントは、「人間関係」と「信頼関係」を築く。その根底にあるのは「声かけ」。全ての労働者を視野に入れ、職場からの要求を集約して改善を目指す。全組合員が目的意識をもつて組織の強化・拡大に取り組む。次期地方大会までに組織を増やし、団結して頑張ろう。

さる2月10日、名古屋国鉄会館において国労名古屋地本第131回拡大地方委員会が開催されました。開会あいさつ、資格審査・委員会の成立確認後、議長に岐阜県支部選出で岐阜分会の大橋委員を選出し、亀井執行委員長の挨拶、交運共済、国労東海本部の挨拶を受け、祝電メッセージを披露し、議事に入りました。書記長から経過報告、当面の活動方針案の提案を受け、質疑討論に入り、委員からは職場実態などの報告や疑問、意見が出され、質問に対する答弁のあと書記長集約、そして委員会宣言の採択、亀井委員長の団結がんばろうで閉会しました。

亀井執行委員長あいさつ



1月28日、通常国会が開催され、安倍政権は「嘘と隠蔽」によって成り立つ。

毎月勤労統計をめぐる不正問題は事業所調査の不正・偽造にとどまらず安倍内閣のもとで賃金上昇を演出する「アベノミクス偽装」が行われた疑惑に発展。

今年度の軍事費は5兆円を大きく超え、5年連続で過去最大。米国から高額な兵器を購入させられ、防衛費予算は膨れあがる一方。これらは歴代政権が「攻撃的兵器を保有することは、許されない」としてきた憲法上の立場を覆し、「専守防衛」を立て前としてきた自衛隊から、「海外で戦争」する軍隊へ変貌させるもの。

辺野古新基地建設では土砂投入を強行。玉城知事の工事中止と協議の申し入れを無視する暴挙。辺野古埋め立ての是非を問う沖縄県民投票が実施される。再び民意を示そう。

10月の消費税10%への増税は家計を直撃し、消費不況をもたらし、アベノミクスで広がった貧困と格差がさらに拡大される。安倍政権即刻退場させる為に地方選・参議院選を共闘する仲間と共に奮闘しよう。

組織拡大では「動きを作る」「分会機能の強化」が提起された。ポイントは、「人間関係」と「信頼関係」を築く。その根底にあるのは「声かけ」。全ての労働者を視野に入れ、職場からの要求を集約して改善を目指す。全組合員が目的意識をもつて組織の強化・拡大に取り組む。次期地方大会までに組織を増やし、団結して頑張ろう。

国労なごや

発行責任者
亀井 和弘
編集責任者
大矢 憲孝
2019.3.8
第31号



大橋(岐阜県支部選出・岐阜分会)

◆組織のあり方について、組織人員も退職等で減っていく中でどういった形が良いか話し合っている。
◆会社は職場の統廃合を進めている。
◆「業務運用の最適化」というが迅速な対応が出来なくなり疑問。



小林(自動車支部選出)

◆職場集会を定期的に開催、職場の問題点を出し合っている。
◆管理者が職場の社員個々人に対して、超勤対応で面談を行っている。
◆C M Cでは、S S運動といつて研修セミナーで基本作業がやられているか試験されている。
◆入管法の関係で、外国人の採用もでてくる、文化の違いなど勉強が必要。
◆出向先でパワーハラあつても問題にせずもみ消される、重大だ。

◆組織のあり方について、分会は検討委員会の決定する方針に合わせると決まった。
◆列車乗務中、鹿などと接触した際の会社の現場指示等に問題がある。
◆台風など特別警報時、会社が社員に対する指示に問題がある。

大西(三重県支部選出・紀勢線分会)

◆非常呼び出しについて、出勤途中に事故を起こした場合の会社の取り扱いを明確にさせるべき。
◆出向先職場で年休が消化されにくく買上げ等年休の取り扱いについて。

土屋(自動車支部)

◆非常呼び出しについて、出勤途中に事故を起こした場合の会社の取り扱いを明確にさせるべき。
◆出向先職場で年休が消化されにくく買上げ等年休の取り扱いについて。

書記長集約



春闘

生計費原則に基づき会社間格差を乗り越え中央本部の指導の下闘おう。ストを背景とした構えが国労たるゆえん。一組合員一行動の実践を。

組織

要求は多数派。貨物、バス、関連会社の実態は矛盾が拡大。大胆かつ丁寧な働きかけで組織化は可能。あらゆるつながりを生かし切ろう。

◆組織のあり方について、後退しないよう組合員の声が届くよう考え方。
◆職場では、指導職になつていなくとも難しい作業を押し付けてきている。そ

ういった中、若い社員など聞いて来たら教えてやつていい。

◆駅のさわやかウォーキングへ若い社員が、管理者から応援を頼まれる事があつた。

平和・民主主義・政治革新

安倍政権の悪政や改憲阻止へ統一地方選挙・参議院選挙勝利は必須。野党共闘の実現の一翼を担い、闘おう。

根・徹底的賃金改悪に答える大闘争は止まらない

60数名が参集

2.27貨物東海支社前決起集会



評価主義に基づく
人事賃金制度反対！
JR貨物は我々の
声を聞け！



当面の行動

- ◆ 3月19日18時20分～栄若宮大通ミニストップ広場 安倍政権NO集会デモ
- ◆ 4月13日10時30分～国鉄会館6階地本会議室 拡大組織対策会議
- ◆ 5月1日 メーデー 各会場
- ◆ 5月3日 憲法つどい 各会場
- ◆ 5月19日13時30分～国鉄会館6階602会議室 地本業務担当者会議

最後に貨物東海支社に対し、シユ
プレヒコールを行い、大きな構え
で今春闘を闘い抜くことを誓い合
いました。

最後に貨物東海支社に対し、シユ
プレヒコールを行い、大きな構え
で今春闘を闘い抜くことを誓い合
いました。

2月27日、国労東海本部が主催
し、19春闘勝利ベースアップ獲得
JR貨物東海支社前総決起集会が開
催され、新幹線地本・静岡地本・
名古屋地本から総勢60名を超える
組合員が結集しました。

司会を大金名古屋貨物協議会議
長が担い、主催者の東海本部長岡
委員長、全貨協因泥事務次長、新
幹線地本芝田副委員長、静岡地本
植田書記長、名古屋地本亀井委員
長議長からは「政治・春闘情勢、
物流としての貨物輸送の使命やそ
れに相応しい労働条件改善を求め
て意気高く闘おう」等と檄が飛び
ました。